

(2) 平成25年度に発表等を行った文献の目録

01 育種一般及び育種計画

011 総説

1. 星 比呂志 : Present Status of Forest Tree Breeding in Japan (日本の林木育種の現状), Proceedings of the international symposium Tree Breeding and Forest Genetics in Asian Tree Species - Status and Prospects -:8 アジアの樹種における林木育種と森林遺伝学 -現状と将来-要旨集 : , 5, 2013
2. 山田 浩雄・田村 明・矢野 慶介 : 第2世代精英樹の選抜と普及, グリーンテクノ情報 9:7-10, 12, 2013
3. 倉本 哲嗣 : 平成25年度の林木育種事業の取り組みについて, 九州育種場だより 27:4-5, 7, 2013

012 育種計画

1. 星 比呂志・倉本 哲嗣・平岡 裕一郎 : 今後のエリートツリーの活用による育種の推進, 森林遺伝育種第2(4)号 : 132-135, 10, 2013
2. 星 比呂志 : 特定母樹を活用した新しい山作りに向けて, 林木育種情報 No.14 : 1, 1, 2014
3. 星 比呂志 : 森林吸収源対策に向けたエリートツリーの今後の活用について, 平成25年度独立行政法人森林総合研究所公開講演会+オープンラボ~技術イノベーションで広がる林業・木材産業~講演要旨集 : 10-11, 10, 2013
4. 高橋 誠・渡辺 敦史 (九州大学) ・岩泉 正和・花岡 創 : 次世代育種の改良効率を高める上で必要となる遺伝資源基盤, 日本森林学会大会学術講演集 125 : 2-222, 3, 2014
5. 高橋 誠 : ゲノム解析などの先端技術を駆使した新しい林木育種をめざす, 林木育種情報 14 : 2, 1, 2014
6. 栗田 学・宮里 学 (鹿児島県森林技術総合センター) ・宮崎 潤二 (佐賀県林業試験場) ・佐藤 嘉彦 (大分県農林水産研究指導センター) ・古澤 英生 (宮崎県林業技術センター) ・武津 英太郎・倉本 哲嗣・千吉良 治・平岡 裕一郎・高橋 誠・藤澤 義武・渡辺 敦史 (九州大学) : 森林の炭素吸収・固定能力の向上にむけた育種からのアプローチ, 日本森林学会大会学術講演集 125 : T7-05, 3, 2014
7. Luis Apiolaza (University of Canterbury) ・Shakti Chauhan (Institute of Wood Science and Technology) ・Michael Hayes (University of Canterbury) ・Ryogo Nakada (中田 了五) ・Monica Sharma (University of Canterbury) ・John Walker (University of Canterbury) : Selection and breeding for wood quality -A new approach. (材質のための選抜と育種 新しいアプローチ), New Zealand Journal of Forestry 58(1) : 32-37, 5, 2013
8. 河合 慶恵・山口 和穂・篠崎 夕子・久保田 正裕・磯田 圭哉・岩泉 正和 : スギ地域差検定林の15年次枯損データによる育種区分の検討, 応用森林学会大会研究発表要旨集 64 : 27, 11, 2013
9. 岩泉 正和 : 次世代育種に向けて林木遺伝資源の視点から何を考える必要があるか?, 日本森林学会大会学術講演集 125 : 168, 3, 2014

02 遺伝, 育種及び変異

## 021 選抜

1. 宮下 久哉・平岡 裕一郎・三浦 真弘・小野 雅子・星 比呂志：関東育種基本区におけるアカマツ第2世代精英樹候補木の選抜，平成25年版林木育種センター年報：34-36，10，2013
2. 平岡 裕一郎・高橋 誠・渡辺 敦史（九州大学）：林木育種における表現型計測手法の高度化，日本育種学会講演会要旨集124：P007，10，2013
3. 平岡 裕一郎・井城 泰一・三浦 真弘・渡辺 敦史（九州大学）：関東育種基本区におけるスギ精英樹の次世代化への展望，森林遺伝育種学会大会講演要旨集2：24，11，2013
4. 平岡 裕一郎：次世代育種のための大規模形質データおよび分子データの取得とその統合に向けて，日本森林学会大会学術講演集125：T14-01，3，2014
5. 平岡 裕一郎・高橋 誠・石井 彰（株式会社 woodinfo）・中村 裕幸（株式会社 woodinfo）・渡辺 敦史（九州大学）：Above-Ground Phenotyping of Sugi Using Terrestrial Lidar（地上LiDARによるスギ地上部の表現型計測），Plant and Animal Genome XXII：495，11，2013
6. 玉城 聡・古本 良・織部 雄一郎・辻山 善洋・瀧川 英久・千葉 信隆：長形質を対象とした次世代育種の可能性，森林遺伝育種シンポジウム3，3，2014
7. 田村 明・山田 浩雄・福田 陽子・矢野 慶介・植田 守・阿部 正信（北海道森林管理局）・竹田 宣明・大城 浩司・佐々木 洋一（北海道森林管理局）・佐藤 亜樹彦・織田 春紀・小園 勝利・渡邊 謙一・来田 和人（北海道立林業試験場）・今 博計（北海道立林業試験場）：北海道育種基本区における第2世代精英樹候補木と準次代検定林からの優良木の選抜－平成24年度の実施結果－，平成25年版林木育種センター年報：17-24，10，2013
8. 玉城 聡・古本 良・織部 雄一郎・辻山 善洋・瀧川 英久・千葉 信隆：東北育種基本区におけるスギ第2世代精英樹候補木の選抜－平成24年度の実施結果－，平成25年版林木育種センター年報：25-28，10，2013
9. 大宮 泰徳・宮下 智弘・宮下 久哉・佐藤 亜樹彦・辻山 善洋・千葉 一美・織部 雄一郎・星 比呂志・織田 春紀：東北育種基本区におけるアカマツ第2世代精英樹候補木の選抜－家系選抜と平成21年度から24年度までの実施結果－，平成25年版林木育種センター年報：29-33，10，2013
10. 久保田 正裕・磯田 圭哉・岩泉 正和・澤村 高至・笹島 芳信・祐延 邦資・坂本 庄生：関西育種基本区におけるヒノキ第2世代精英樹候補木の選抜－西山大27号，山育14号，西大阪局25号，西大阪局26号における実行結果－，平成25年版林木育種センター年報：41-44，10，2013
11. 久保田 正裕：選抜指数法を用いたエリートツリー候補木の選抜，関西育種場だより72：2，11，2013
12. 倉本 哲嗣：スギの初期成長に優れた品種を開発しました，九州育種場だより27：3，7，2013
13. 倉本 哲嗣：九州育種基本区における「特定母樹」の申請，九州育種場だより28：4，1，2014
14. 武津 英太郎・松永 孝治・倉原 雄二・湯浅 真・千吉良 治・高橋 誠・柏木 学・福山 友博・松永 順・一高 一任：九州育種基本区におけるスギ第2世代精英樹候補木の選抜－九熊本第120号・126号・128号・137号における実行結果－，平成25年版林木育種センター年報：45-49，10，2013

## 022 交雑（技術，交雑プロジェクト等を含む）

1. 坪村 美代子・田村 美帆（九州大学）・平岡 裕一郎・栗田 学・渡辺 敦史（九州大学）：無

- 花粉スギ F2 個体の特性と交雑による改良効果, 育種学研究, 15(別2) : 280, 10, 2013
2. 花岡 創・尾坂 尚紀・加藤 一隆, : テリハボクの自殖率および初期成長に対する近交弱勢の影響の検証, 平成 25 年版林木育種センター年報版 : 65-67, 10, 2013
  3. 倉本 哲嗣・藤澤 義武, 林木育種の現場の ABC (4) 実生苗の養成技術-クロマツの人工交配技術-, 森林遺伝育種学会誌 2 : 109-112, 7, 2013
  4. 倉本 哲嗣・藤澤 義武 : 林木育種の現場の ABC (5) 人工交配技術-スギ-, 森林遺伝育種学会誌 2 : 154-157, 10, 2013
  5. 倉本 哲嗣・藤澤 義武 : 林木育種の現場の ABC (6) 人工交配技術-ヒノキ-, 森林遺伝育種学会誌 3 : 30-33, 1・2014
  6. Eitaro Fukatsu・Miyoko Tsubomura・Yoshitake Fujisawa・Ryogo Nakada : Genetic improvement of wood density and radial growth in *Larix kaempferi*: results from a diallel mating test (カラマツの材密度と直径成長の遺伝的改良 : ダイアレル交配試験より), Annals of Forest Science. 70(5) : 451-459, 4, 2013

### 0 2 3 変異 (系統分類, 倍数体を含む)

1. Thwe Thwe Win (東京大学)・Hirao Tomonori・Watanabe Atsushi (九州大学)・Goto Susumu (東京大学) : Haplotype distribution of Myanmar teak revealed by newly-developed cpSNP markers (葉緑体 SNP マーカーによるミャンマーのチークにおけるハプロタイプの分布), 森林遺伝育種学会大会講演要旨集 2 : 3, 11, 2013
2. 井上 友紀 (東京農業大学)・江利川 遼 (東京農業大学)・海田 るみ (東京農業大学)・太治 輝昭 (東京農業大学)・坂田 洋一 (東京農業大学)・林 隆久 (東京農業大学)・高田 直樹・谷口 亨・馬場 啓一 (京都大学)・桐生 智明 (京都府立大学)・山中 望 (京都府立大学)・古田 裕三 (京都府立大学) : 二次壁特異的プロモーターによるキシログルカナナーゼの発現, 日本木材学会研究発表要旨集 64 : 5, 3, 2014
3. 高田 直樹, 植物の光応答と温度の影響, 第 6 版 冷凍空調便覧 第 IV 巻 食品・生物編 (日本冷凍空調学会) : 360-365, 9, 2013
4. Ken-ichi Konagaya・Mai Tsuda (農業生物資源研究所)・Ayako Okuzaki (農業生物資源研究所)・Sugihiro Ando (東北大学)・Yutaka Tabei (農業生物資源研究所) : Application of the acetolactate synthase gene as a cisgenic selectable marker for Agrobacterium-mediated transformation in Chinese cabbage (*Brassica rapa ssp. pekinensis*). (アグロバクテリウム法を用いた結球ハクサイ形質転換におけるアセト乳酸合成酵素遺伝子の cisgenic な選抜マーカーとしての利用), Plant Biotechnology 30 : 125-133, 6, 2013
5. Ken-ichi Konagaya・Manabu Kurita・Toru Taniguchi : High-efficiency Agrobacterium-mediated transformation of *Cryptomeria japonica* D. Don by co-cultivation on filter paper wicks followed by meropenem treatment to eliminate Agrobacterium. (ろ紙共存培養とアグロバクテリウム除去のためのメロポネム処理による高効率なスギの形質転換法), Plant Biotechnology 30 : 523-528, 12・2013
6. Ken-ichi Konagaya・Manabu Kurita・Miyoko Tsubomura・Tomonori Hirao・Atsushi Watanabe (九州大学)・Katsuaki Ishii・Toru Taniguchi : Induction of male sterility in transgenic sugi (*Cryptomeria japonica*) by barnase/barstar system. (バルナーゼ/バルスター遺伝子

- 組換えによるスギの雄性不稔化) , Abstracts of IUFRO Tree Biotechnology 2013 : SI.P07, 5, 2013
7. 小長谷 賢一・栗田 学・坪村 美代子・平尾 知士・渡辺 敦史(九州大学)・石井 克明・谷口 亨 : Barnase-barstar システムを用いた遺伝子組換え雄性不稔スギの作出と形質評価, 日本植物細胞分子生物学会(札幌)大会シンポジウム講演要旨集 31 : 148, 9, 2013
  8. 小長谷 賢一・栗田 学・坪村 美代子・平尾 知士・渡辺 敦史(九州大学)・石井 克明・谷口 亨 : 遺伝子組換え技術による無花粉スギの作出と形質評価 : 森林遺伝育種学会大会講演要旨集 2 : 21, 11, 2013
  9. 小長谷賢一 : 遺伝子組換え技術によるスギの無花粉化, 林木育種情報 13 : 2, 7, 2013
  10. 小長谷 賢一・谷口 亨・栗田 学 : 遺伝子組換えによるスギ花粉形成抑制技術を開発, 平成 25 年版研究成果選集 : 38, 8, 2013
  11. 平尾 知士・渡辺 敦史 (九州大学) : EST-SSR マーカーを用いたクロマツ・アカマツの雑種識別, 森林遺伝育種学会大会講演要旨集 2 : 12, 11, 2013
  12. 平尾 知士・三嶋 賢太郎・田村 美穂 (九州大学)・渡辺 敦史 (九州大学) : スギ次世代育種に向けた DNA マーカーの開発とその利用, 日本森林学会大会講演要旨集 125 : P2-215, 3, 2014
  13. Tomonori Hirao・Watanabe Atsushi (九州大学) : A Time-Course Comparative Microarray Analysis of Different Genotypes in Japanese Black Pine (*Pinus thunbergii*) during Attack By Virulent Nematode (*Bursaphelenchus xylophilus*) and Avirulent Nematode (*B. mucronatus*) (マツノザイセンチュウとニセマツノザイセンチュウの接種によるクロマツの異なる遺伝子型タイプにおける時系列マイクロアレイ解析) , Plant and Animal Genome XXII : 228, 1, 2014
  14. Takata Naoki・Yokota Kiyonobu (北陸先端大学)・Ohki Shinya (北陸先端大学)・Mori Masayuki (石川県立大学)・Taniguchi Toru・Kurita Manabu : Evolutionary relationship and structural characterization of the EPF/EPFL gene family. (ペプチドホルモン EPF/EPFL 遺伝子群の進化過程と構造特性), PLOS ONE8 : e65183, 6, 2013
  15. 高田 直樹・谷口 亨 : GFP-tubulin を導入したポプラの形態変化と微小管の可視化, 日本木材学会研究発表要旨集 64 : 116, 3, 2014
  16. Takata Naoki・Taniguchi Toru : Ectopic expression of GFP-tubulin affects morphology and growth of *Populus tremula* × *Populus tremuloides*. (GFP-tubulin の異所的発現がポプラに与える影響), 日本植物生理学会研究発表要旨集 55 : 353, 3, 2014
  17. Fumiaki Funahashi (京都大学)・Seiichi Ohta (京都大学)・Toru Taniguchi・Manabu Kurita・Ken-ichi Konagaya・Takahisa Hayashi (東京農業大学) : Architectural and physiological characteristics related to the depressed growth of poplars overexpressing xyloglucanase in a field study (キシログルカナーゼを過剰発現したポプラの野外における生育阻害に関連する形態的生理的特徴) , Trees28(1) : 65-76, 2, 2014
  18. 谷口 亨・小長谷 賢一・栗田 学・石井 克明 : 遺伝子組換えによる無花粉スギの作出, 平成 25 年度森林総合研究所オープンラボセミナー2013, 10, 2013
  19. 杉山 奏澄 (弘前大学)・井頭 千明・大宮 泰徳・赤田 辰治 (弘前大学) : ブナの開花前年における花成関連遺伝子の発現, 日本森林学会大会講演要旨集 125, 3, 2014
  20. 武津 英太郎・中田 了五・平岡 裕一郎・高橋 誠・千吉良 治・磯田 圭哉・織部 雄一郎・山

- 野邊 太郎・玉城 聡・田村 明、安江 恒（信州大学）：主要針葉樹種における年輪構造の気候応答の遺伝的変異 -カラマツ・スギ・ヒノキ-, 樹木年輪研究会（2013）：T7, 10, 2013
21. 武津 英太郎・松永 孝治・倉原 雄二・千吉良 治・倉本 哲嗣・高橋 誠：スギ若齢木の樹高成長フェノロジーの遺伝性, 森林遺伝育種学会大会講演要旨集 2：22, 10, 2013
  22. 武津 英太郎・中田了五・千吉良 治・高橋 誠・安江 恒（信州大学）：年輪構造の環境応答の遺伝的解析に向けた気象パラメータの検討, 日本木材学会研究発表要旨集 64：9, 3, 2014
  23. 武津 英太郎・松永 孝治・倉原 雄二・千吉良 治・倉本 哲嗣・高橋 誠：スギ若齢木の樹高成長フェノロジーの遺伝性, 日本森林学会講演要旨集 125：276, 3, 2014

### 0 3 樹種, 品種の選択と植栽試験

#### 0 3 1 次代検定（育種効果を含む）

1. 花岡 創・平岡 裕一郎・三浦 真弘・武津 英太郎・高橋 誠・渡辺 敦史（九州大学）：GISと長期成長モニタリング試験地情報の統合による環境区分とスギの適応性評価, 日本森林学会大会講演要旨集 125：T14, 3, 2014
2. 矢野 慶介・田村 明・山田 浩雄・大城 浩司：20年生次アカエゾマツ地域差検定林における実生家系の成長特性と地域区分の再検討, 日本森林学会大会学術講演集 125：P1-065：99, 3, 2014
3. 玉城 聡：ミニ林木育種事典「次代検定林」, 東北の林木育種 205：8, 10, 2013
4. 久保田 正裕：第2世代精英樹選抜に向けた育種集団林データの解析—滋賀県内の国有林に設定されたスギ育種集団林の事例—, 応用森林学会大会研究発表要旨集 64：25, 11, 2013
5. 河合 慶恵・岩泉 正和・久保田 正裕・篠崎 夕子・山口 和穂・平岡 裕一郎・三浦 真弘・古本 良・磯田 圭哉：地上型3次元レーザースキャナー計測技術を活用した検定林調査の有効性：日本森林学会大会学術講演集 125：277, 3, 2014
6. 山口 和穂：スギ精英樹クローンにおける高さ別直径データの解析, 応用森林学会大会研究発表要旨集 64：26, 11, 2013
7. 山口 和穂：完満の指標, 関西育種場だより 72：4, 11, 2013

#### 0 3 2 試植検定林

#### 0 3 3 産地試験

1. 那須 仁弥：非線形混合モデルを用いたミズナラ成長経過における産地の効果の推定, 関東森林研究 64(2)：83-84, 9, 2013
2. 那須 仁弥・大谷 雅人・宮本 尚子・岩泉 正和・千吉良 治：苗畑における日本産アカマツの出芽経過の産地間変異, 日本森林学会学術講演集 125：E09, 3, 2014
3. 那須 仁弥・大谷 雅人・宮本 尚子・岩泉正和, アカマツ2年生実生の苗畑における成長パターンの評価法の検討, 関東森林学会大会講演要旨集 3：33, 10, 2013
4. 花岡 創・三浦 真弘・平岡 裕一郎・武津 英太郎・磯田 圭哉・千吉良 治・井城 泰一・高橋 誠・織部 雄一郎・久保田 正裕・倉本 哲嗣・渡辺 敦史（九州大学）：スギ次代検定林の解析結果から見た育種区および種苗配布区域の妥当性, 森林遺伝育種学会講演要旨集 2：22, 11, 2013
5. 三浦 真弘・花岡 創、平岡 裕一郎・高橋 誠・渡辺 敦史（九州大学）：林木の生育環境に対

- する適応性評価と種苗移動の検討, 日本育種学会講演会要旨集 124 : 166, 10・2013
6. 三浦 真弘・花岡 創・平岡 裕一郎・武津 英太郎・磯田 圭哉・千吉良 治・井城 泰一・高橋 誠・織部 雄一郎・久保田正 裕・倉本 哲嗣・渡辺 敦史 (九州大学) : 既存次代検定林の解析による育種区・スギ種苗配布区域の妥当性の検証, 森林遺伝育種学会大会講演要旨集 2 : 31, 11, 2013
  7. 三浦 真弘・花岡 創・平岡 裕一郎・武津 英太郎・高橋 誠・渡辺 敦史 (九州大学) : 長期成長モニタリング試験地のデータ解析による スギ種苗移動の妥当性の検証, 日本森林学会 学術講演集 125 : P2-220, 3, 2014
  8. 岩泉 正和・磯田 圭哉・河合 慶恵・村上 丈典・篠崎 夕子・宮本 尚子・大谷 雅人・那須 仁 弥 : アカマツ広域産地試験における関西育種場で播種した実生の発芽特性 : 森林遺伝育種学 会講演要旨集 2 : 7, 11, 2013

#### 0 4 採種園, 結実促進, その他有性繁殖

##### 0 4 1 採種園関係

1. 坪村 美代子・中村 博一 (群馬県林業試験場)・市村 よし子 (茨城県林業技術センター) : 少花 粉スギミニチュア採種園の交配実態の把握と適正な種苗生産に向けたマニュアルの作成, 森 林遺伝育種学会講演要旨集 2 : 23, 11, 2013

##### 0 4 2 着花促進, 種子生産性等

1. 板鼻 直榮・今野 敏彦・尾阪 尚紀 : イジュの開花習性, 亜熱帯森林・林業研究会定期総会・ 研究発表会 (平成 25 年度) : 8, 8, 2013
2. 板鼻 直榮 : イジュの開花習性と人工交配の試み, 日本森林学会大会要旨集 125 : 99, 3, 2014
3. 田村 明・山田 浩雄・福田 陽子・矢野 慶介・坂上 勉・植田 守・竹田 宣明・大城 浩司・ 佐藤 亜樹彦・上田 雄介・織田 春紀・生方 正俊・久保田 権・佐藤 新一・阿部 正信 (北 海道森林管理局)・佐々木 洋一 (北海道森林管理局) : 北海道におけるカラマツ精英樹ク ローンに着花特性, 北方森林学会大会要旨集 62 : Pa-15, 2, 2014
4. 山野邊 太郎 : 不織布人工交配袋はカメムシ防除袋を兼ねるか, 森林遺伝育種学会大会講演要 旨集 2 : P9, 11, 2013
5. 玉城 聡・平尾 知士・宮下 久哉・宮下 智弘 : GA4/7 を用いた若齢アカマツの着花促進処理, 東北森林科学会大会講演要旨集 18 : 69, 8, 2013
6. 玉城 聡 : マツ類 (カラマツ・アカマツ) の着花促進技術の確立に向けた取り組み, 東北の林 木育種 204 : 6-7, 245, 7, 2013
7. 玉城 聡 : 着花促進処理によるアカマツの着花量の増加に向けた研究, 岩手の林業 667 : 3, 6, 2013

#### 0 5 採穂園, その他無性繁殖

##### 0 5 1 さし木, つぎ木, 発根性等

1. 平岡 裕一郎・重永 英年・山川 博美・岡村 政則・千吉良 治・藤澤 義武 : 下刈り省略とそ の後の除伐がスギ挿し木クローンの成長に及ぼす影響, 日本森林学会誌 95 : 305-311, 12, 2013
2. 井城 泰一・平岡 裕一郎・大平 峰子・小野 雅子・, 渡辺 敦史 (九州大学) : 関東育種基本

- 区におけるスギ精英樹のさし木発根性の評価, 日本森林学会大会学術講演集 125:P2-218, 3, 2014
3. 藤澤 義武、植田 守：講座：林木育種の現場の ABC(3) クローン苗の養成技術 -さし木-, 森林遺伝育種 2(2)、62-66, 4, 2013
  4. Toshio Shibuya (大阪府立大学)・Toru Taniguchi・Shuhei Tsukuda (大阪府立大学)・Shuji Shiozaki (大阪府立大学)・Kaori Itagaki (大阪府立大学) : Adventitious root formation of Japanese cedar (*Cryptomeria japonica* D. Don) cuttings is stimulated by soaking basal portion of cuttings in warmed water while cooling their apical portion (スギの不定根形成はさし穂基部を加温し、上部を冷却することにより刺激される), New Forests、DOI 10.1007/s11056-014-9414-z, 2, 2014
  5. 山野邊 太郎・辻山 善洋：寒冷地におけるクロマツ採穂台木から発生する不定枝のサイズ, 東北森林科学会講演要旨集 18 : 67, 8, 2013
  6. 山野邊 太郎・久保田 正裕・山口 和穂、岩泉 正和・磯田 圭哉・平尾 知士：アカマツ挿し木発根の遺伝性, 日本森林学会学術講演集 124 : P1-060, 3, 2014
  7. 磯田 圭哉・岡村 政則・笹島 芳信・河合 貴之・祐延 邦資：関西育種基本区選抜ヒノキ精英樹のさし木苗形態特性の調査, 森林遺伝育種学会大会講演要旨集 2 : 8, 11, 2013
  8. 千吉良 治・松永 孝治：低台仕立ての採穂木を利用したマツのさし木における各種処理が根系等の形状に与える影響, 九州森林学会大会研究発表プログラム 69 : 605, 10, 2013

## 052 組織培養

1. 石井 克明・高田 直樹・小長谷 賢一・谷口 亨：薬用樹木カギカズラの組織培養による増殖, 国際植物増殖差会議日本支部岐阜大会講演要旨集 20 : 7-8, 10, 2013
2. 石井 克明・小長谷 賢一・谷口 亨：薬用機能性樹木の組織培養, 森林遺伝育種学会大会講演要旨集 2 : 4, 11, 2013
3. 谷口 亨・小長谷 賢一・栗田 学：緩速予備凍結法によるスギの不定胚形成細胞の超低温保存, 日本植物細胞分子生物学会(札幌)大会シンポジウム講演要旨集 31 : 159, 9, 2013
4. 谷口 亨・小長谷 賢一・栗田 学・高田 直樹：スギの不定胚形成細胞の超低温保存方法の開発, 日本木材学会大会研究発表要旨集 64 : 115, 3, 2014
5. 大宮 泰徳：組織培養によるブナクローンの増殖, 東北森林科学会大会講演要旨集 18 : 70, 8, 2013

## 06 育苗・その他形質記録

### 061 育苗

1. 藤澤 義武・石井 克明：【特集】今後の種苗供給における林木育種の課題 特集「今後の種苗供給における林木育種の課題」を組むにあたって, 森林遺伝育種第 2 (3) : 128-131, 10, 2013
2. 田村 明：北海道におけるコンテナ苗活用による優良種苗の普及, 森林遺伝育種 2 : 142-148, 10, 2013
3. 田村 明：優良品種のコンテナ苗育成技術の開発に向けて, 野幌の丘から 181 : 1, 10, 2013
4. 田村 明・小川 瞳(東京大学)・木村 徳志(東京大学)・福岡 哲(東京大学)：エゾマツコンテナ苗の施肥について, 北海道の林木育種 56(2) : 19-22, 1, 2014

5. 福田 陽子：マルチキャビティコンテナを使用したアオダモ実生苗の育成，野幌の丘から 181：2，10，2013
6. 織部 雄一郎：大きな苗木を、早く育てる—コンテナで育てたスギの育種苗—，セミナー コンテナ苗から考える東北の低コスト造林：8，10，2014
7. 磯田 圭哉、山口 和穂：アカマツの直播およびコンテナ苗の3年間の成育特性，応用森林学会大会研究発表要旨集 64：52，11，2013

## 07 樹木園，緑化樹及び広葉樹の育種

### 071 樹木園，クローン集植所

#### 072 広葉樹の育種

1. 平岡 裕一郎・渡辺 敦史（九州大学）：4 優良系統の選抜，ウルシの健全な森を育て、良質な漆を生産する：7，9，2013
2. 山田 浩雄・久保 田正裕：クヌギ実生採種園の造成と実現された改良効果，北海道の林木育種 56：35-38，8，2013
3. 山田 浩雄・田村 明・阿部 正信（北海道森林管理局）・久保田 正裕：クヌギ精英樹オープン家系の成長と容積密度の相関反応—間接選抜効果の予測—，平成 25 年版林木育種センター年報：60-61，10，2013
4. 折橋 健（北海道林業試験場）・安久津 久（北海道林業試験場）・福田 陽子・矢野 慶介：エネルギー・化成品生産を目的とするヤナギ優良クローンの選抜に向けた検討—優良クローン候補木の成分含有割合の分析—，北海道の林木育種 56(1)：30-34，8，2013

## 08 森林保護技術と被害様式

### 081 気象害抵抗性育種（凍害，寒風害，雪害等）

1. 久保田 正裕・山口 和穂：関西育種基本区におけるスギ雪害抵抗性候補木クローンの成長特性，日本森林学会大会学術講演集 125：100，3，2014

### 082 病虫害抵抗性育種（昆虫害，病害等）

1. 加藤 一隆：スギカミキリに抵抗性を有するスギの特徴—幼虫の穿孔状況及び傷害樹脂道の形成について—，日本森林学会大会学術講演集 125：97，3，2014
2. 藤澤 義武：東北地方等におけるマツノザイセンチュウ抵抗性品種の開発，森林と林業、日本林業協会 2014 年 2 月号：12-13，2，2014
3. Kusumoto Dai（東京大学）・Yonemichi Takashi（東京大学）・Inoue Hiroki（東京大学）・Hirao Tomonori・Watanabe Atsushi（九州大学）・Yamada Toshihiro（東京大学）：Comparison of histological responses and tissue damage expansion between resistant and susceptible *Pinus thunbergii* infected with pine wood nematode *Bursaphelenchus xylophilus*（マツノザイセンチュウを接種した抵抗性クロマツおよび感受性クロマツ間の細胞ダメージの比較），*Journal of Forest Research* 19：285-294，9，2013
4. Akami Ai（東京大学）・Kusumoto Dai（東京大学）・Tomonori Hirao・Atsushi Watanabe（九州大学）・Kenji Fukuda（東京大学）：Embolism development observed with a compact MRI in Japanese black pine clones resistant to pine wilt disease（マツ材線虫病に対する

- 抵抗性クロマツにおけるMRIによるエンボリズムの発展), Pine Wilt Disease Conference 2013, 10, 2013
5. 織部 雄一郎: 東北地方太平洋沖地震で壊滅した海岸防災林再生への取組ー東北における抵抗性クロマツ種苗の供給システムの確立を目指してー, みどりの東北 120:6, 3, 2014
  6. 山野邊 太郎・織部 雄一郎・板鼻 直榮・高倉 良紀・福田 友之・千葉 信隆: 東北育種場における東北地方等マツノザイセンチュウ抵抗性育種事業-平成 24 年度の実施結果-, 平成 25 年版林木育種センター年報: 50-54, 10, 2013
  7. 磯田 圭哉・岩泉 正和・山口 和穂・久保田 正裕・笹島 芳信・祐延 邦資: 関西育種場におけるマツ材線虫病対策の取組みについて, 平成 25 年度森林・林業交流研究発表集録:146-149, 3, 2014
  8. 下山 泰史(ゾエティス、ジャパン)・丸 章彦(ゾエティス、ジャパン)・松永 孝治: 抵抗性マツと樹幹注入剤を併用した場合のマツ材線虫病に対する防除効果-3年生クロマツ苗を用いた接種実験の結果より-, 日本森林学会講演要旨集 125:148, 3, 2014
  9. 倉本 哲嗣・松永 孝治・大平 峰子・岡村 政則・藤沢 義武: マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ品種開発時の評価と実生後代における抵抗性評価の比較, 九州森林研究 67:59-61, 3, 2014
  10. 倉本 哲嗣・松永 孝治・大平 峰子・岡村 政則・藤沢 義武: 平成 15 年度開発したマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ品種の開発時評価とその実生後代に対する接種検定結果の比較, 森林遺伝育種学会第 2 回大会講演要旨集: 25, 11, 2013
  11. 松永 孝治・千吉良 治・倉原 雄二・高橋 誠・倉本 哲嗣: 第 2 世代のマツノザイセンチュウ抵抗性品種の新たな品種開発, 森林総合研究所 平成 25 年版研究成果選集: 52-53, 8, 2013
  12. 松永 孝治: マツノザイセンチュウに強いクロマツの品種開発を実施, 九州育種場だより 28: 2-3, 1, 2014
  13. 松永 孝治・千吉良 治・武津 英太郎・倉原 雄二・倉本 哲嗣・高橋 誠・山田 浩雄・星 比呂志・大平 峰子・大川 雅史(福岡県森林林業技術センター)・宮崎 潤二(佐賀県林業試験場)・真崎 修一(佐賀県林業試験場)・吉本 貴久雄(長崎県農林技術開発センター)・山田 康裕(大分県農林水産研究指導センター)・草野 僚一(熊本県林業研究指導所)・田上 敏彦(宮崎県林業技術センター)・古澤 英生(宮崎県林業技術センター)・宮里 学(鹿児島県森林技術総合センター): 抵抗性クロマツの第 3 期追加選抜の実施状況, 九州森林学会大会研究発表プログラム 69:608, 10, 2013
  14. 松永 孝治・千吉良 治・武津 英太郎・倉原 雄二・倉本 哲嗣・大平 峰子: 九州地域で追加選抜したマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ品種の実生抵抗性及び種子生産性の評価, 森林遺伝育種学会大会講演要旨集 2:23, 10, 2013
  15. 松永 孝治・大平 峰子・武津 英太郎・倉原 雄二・千吉良 治・倉本 哲嗣・高橋 誠・杉本 博之(山口県農林総合技術センター)・富樫一巳(東京大学): アカマツとクロマツの抵抗性及び感受性家系が植栽された 1 林分におけるマツ材線虫病の発生動態, 日本森林学会講演要旨集 125:161, 3, 2014

### 083 耐やせ地性等

### 09 育種材料の特性

### 091 総合特性（成長，形態等）

1. 高橋 誠：平成 25 年度に開発した新品種，林木育種情報 15：2-3，3，2014
2. 小林 慧・高田 克彦・長谷川 陽一（秋田県立大学）・織部 雄一郎：スギ雪害抵抗性品種「出羽の雪」の成長と材質Ⅱ，日本木材学会大会研究発表要旨集 64：B13-P-13，11，2012
3. 古澤 英生（宮崎県林業技術センター）・武津 英太郎・千吉良 治・高橋 誠：初期成長に優れた宮崎県産スギ精英樹における壮齡期以降の形質特性について，九州森林学会大会研究発表プログラム 69：601，10，2013

### 092 成長

#### 093 材質（心材色を含む）

1. 宮下 久哉・井城 泰一・平岡 裕一郎・石栗 太（宇都宮大学）・工藤 祐司（宇都宮大学）：人工交配実生後代を用いたカラマツの密度に関する遺伝性の検討，日本木材学会大会研究発表要旨集 64：12，3，2014
2. Taiichi Iki・Kentarō Mishima・Yuichiro Hiraoka・Masahiro Miura・Miyoko Tsubomura・Yuji Kudo（宇都宮大学）・Futoshi Ishiguri（宇都宮大学）・Atsushi Watanabe（九州大学）：Inheritance of wood stiffness in *Cryptomeria japonica* at two progeny test stands created by a diallel mating design（ダイアレル交配による 2 箇所の検定林におけるスギ材強度の遺伝性），8th PRWAC and IAWS 2013 abstracts：96，10，2013
3. 井城 泰一・三嶋 賢太郎・平岡 裕一郎・栗田 学・渡辺 敦史（九州大）：スギにおけるマイクロフィブリル傾角の樹幹内変動と応力波伝播速度・動的ヤング率との関係，森林遺伝育種学会講演要旨集 2：10，11，2013
4. 井城 泰一・三浦 真弘・平岡 裕一郎・坪村 美代子・石栗 太（宇都宮大）・工藤 祐司（宇都宮大）・渡辺 敦史（九州大）：スギ若齡木における木材性質の遺伝パラメータの推定，日本木材学会大会研究発表要旨集 64：127，3，2014
5. 井城 泰一：材質形質の育種の可能性，日本森林学会大会学術講演集 125：，3，2014
6. 桑山 明希（信州大学）・織部 雄一郎・安江 恒（信州大学）：カラマツ樹幹の局所冷却による早晚材移行期の形成層活動への影響，樹木年輪研究会 2013 年度発表要旨集：23，12，2013
7. 工藤 佳世（東京農工大学）・松岡 佑悟（東京農工大学）・山岸 祐介（東京農工大学）・Begum Shahanara（バングラデシュ農科大学）・鍋嶋 絵里（愛媛大学）・織部 雄一郎・半 智史（東京農工大学）・船田 良（東京農工大学）：広葉樹環孔材コナラにおける当年最初の孔圏道管形成位置，日本木材学会大会研究発表要旨集 64：A14-02-0930，3，2014
8. 桑山 明希（信州大学）・織部 雄一郎・安江 恒（信州大学）：カラマツ樹幹の局所冷却による早晚材移行時期の形成層活動への影響，日本木材学会大会研究発表要旨集 64：A13-P-22，3，2014
9. 織部 雄一郎：年輪形成の再開に影響を及ぼす因子，東北森林科学会講演要旨集 18：72，8，2013
10. 織部 雄一郎、Begum Shahanara（バングラデシュ農科大学）・船田 良（東京農工大学）：The continuity of cell division and the resumption of xylem differentiation of new cambial derivatives after the cambial reactivation induced by localized stem heating in temperate zone trees.（局所加温した温帯に生育する樹木の幹部における形成層再活動

後の形成層細胞分裂の継続と木部分化の開始) , Abstracts of the 9th International Conference on Dendrochronology 2014 : 90, 1, 2013

11. 千代田 圭佑 (鳥取大学) ・藤本 高明 (鳥取大学) ・磯田 圭哉 : 林木育種高速化に向けた新たな材質評価法の開発, 日本木材学会中四国支部研究発表会要旨集 25 : 102-103, 9, 2013
12. 千代田 圭佑 (鳥取大学) ・藤本 高明 (鳥取大学) ・磯田 圭哉 : 近赤外スペクトルを対象形質としたスギクローンの育種価推定の検討, 近赤外フォーラム講演要旨集 29 : 138, 11, 2013
13. 倉原 雄二 : 9年生スギクローンの応力波伝播速度によるヤング率の評価, 九州森林学会大会研究発表プログラム 69 : 606, 10, 2013
14. 倉原 雄二 : 9年生スギの応力波伝播速度からの動的ヤング係数の推定, 日本木材学会研究発表要旨集 64 : 131, 10, 2013
15. 武津 英太郎 ・松永 孝治 ・倉原 雄二 ・千吉良 治 ・高橋 誠 ・倉本 哲嗣 : 九州育種基本区におけるヒノキ精英樹の炭素固定量の評価に向けた材密度と材積の育種価の評価方法の検討, 九州森林学会大会研究発表プログラム 69 : 602, 10, 2013
16. 武津 英太郎 ・松永 孝治 ・倉原 雄二 ・千吉良 治 ・高橋 誠 ・倉本 哲嗣 : Pilodyn を用いたヒノキの材密度の間接選抜における樹皮の影響, 九州森林研究 67 : 33-36, 3, 2014

## 094 抵抗性

## 095 その他

1. 能勢 美峰 ・田村 美帆 (九州大学) ・三嶋 賢太郎 ・井城 泰一 ・坪村 美代子 ・栗田 学 ・渡辺 敦史 (九州大学) : スギの温度に伴う日周性の変化, 日本植物生理学会年会大会講演要旨集 55 : 263, 3, 2014
2. 坪村 美代子 ・武津 英太郎 ・渡辺 敦史 (九州大学) : 関東育種基本におけるスギ精英樹クロール雄花着花量の評価, 日本森林学会誌 95 : 156-162, 7, 2013
3. 坪村 美代子 ・谷口 亨 ・高橋 誠 : 花粉症とスギの林木育種, グリーンエージ 40(7) : 13-16, 7, 2013
4. 坪村 美代子 ・平岡 裕一郎 ・栗田 学 ・高橋 誠 ・渡辺 敦史 (九州大学) : 優良な形質を併せ持つ雄性不稔スギの作出-雄性不稔スギリソース整備に向けて-, 日本森林学会大会学術講演集 125 : Pp. 277, 3, 2014
5. 三浦 真弘 ・玉城 聡 ・中田 了五 : カラマツの FL 系統の着花性について, 東北森林科学会講演要旨集 18 : 64, 8, 2013
6. 磯田 圭哉 ・河合 慶恵 ・山口 和穂 ・久保田 正裕 ・山田 浩雄 : 関西育種基本区におけるスギ雄性不稔遺伝子保有個体の探索, 平成 25 年版林木育種センター年報 : 55-59, 10, 2013

## 10 遺伝資源

### 101 収集, 保存

1. 生方 正俊 ・平井 郁明 ・加藤 智子 ・栗田 祐子 : -20°C の冷凍庫で 10 年間保存したスギおよびヒノキ種子の発芽率, 関東森林研究 65(1) : 91-94, 3, 2014
2. 生方 正俊 ・田村 明 ・古本 良 ・蓬田 英俊 (岩手県林業技術センター) : カラマツ種子の成熟時期の地域間および年次間差, 日本森林学会大会講演要旨集 125 : 198, 3, 2014

3. 生方 正俊・加藤 智子・平井 郁明・栗田 祐子・大谷 雅人・板鼻 直栄：小笠原諸島母島での希少樹種等の保存，森林遺伝育種学会大会講演要旨集 2：26，11，2013
4. 矢野 慶介：北海道育種場で進めているヤナギ属 2 樹種の収集とバイオマス生産に適したヤナギ品種の開発，遺伝資源連絡会誌 2013No2，10，2013
5. 岩泉 正和・磯田 圭哉・笹島 芳信・坂本 庄生・山口 和穂・河合 慶恵：結実量の異なる 2 年間で収集したシコクシラベ種子の発芽特性，応用森林学会大会研究発表要旨集 64：48，11，2013
6. 岩泉 正和・笹島 芳信・磯田 圭哉・河合 慶恵・山口 和穂・久保田 正裕：固有樹種シコクシラベの保存にむけた取り組み，四国森林・林業研究発表会研究発表集（平成 25 年度）：90-93，3，2014
7. 千吉良 治：絶滅危惧種・ヤクタネゴヨウ (*Pinus amamiana Koidz.*) の生息域外保存の取り組み，平成 25 年度森林総合研究所九州地域研究発表会，11，2013
8. 千吉良 治：絶滅危惧種ヤクタネゴヨウの現地外保存についての取り組みを一般市民向けに紹介，九州育種場だより 28：5，1，2014

## 102 分類，同定，評価

1. 宮本 尚子：環境条件からみた林木遺伝資源保存林の配置の評価，環境研究シンポジウム 11：39，11，2013
2. 宮本 尚子：環境条件からみた 林木遺伝資源保存林の配置の評価，平成 25 年度林木育種成果発表会，1，2014
3. 宮本 尚子：環境条件からみた 林木遺伝資源保存林の評価，林木育種情報 15：5，3，2014
4. 那須 仁弥：地球温暖化に対応したアカマツの移植による保存，林木育種情報 14：3，1，2013
5. 中田 了五：カラマツ生立木樹幹内水分量の 12 年間の変化，日本木材学会大会要旨集 63：B14-03-1445，3，2014
6. 矢野 慶介・山田 浩雄・田村 明・福田 陽子・織田 春紀：オノエヤナギとエゾノキヌヤナギの開花フェノロジーの種間差，北方森林研究 62：47-48，2，2014
7. 矢野 慶介：ヤナギ属 2 種の開花特性，野幌の丘から 182：1，2，2014
8. 工藤 佳世（東京農工大学）・鍋嶋 絵里（愛媛大学）・Begum Shahanara（バングラデシュ農科大学）・山岸 祐介（東京農工大学）・半 智史（東京農工大学）・織部 雄一郎・安江 恒（信州大学）・船田 良（東京農工大学）：The effects of localized heating and disbudding on cambial reactivation and formation of earlywood vessels in seedlings of the deciduous ring-porous hardwood, *Quercus serrata* (局部加温と摘芽が落葉性環孔材広葉樹コナラの形成層再活動と早材道管の形成に及ぼす影響。), *Annals of Botany*, 2, 2014
9. 岩泉 正和：ケヤキの林木遺伝資源保存林における林分構造と更新特性：関西育種場だより 71：3，7，2013
10. Iwaizumi, M.G.・Ohtani, M.・Tsuda, Y.（ウプサラ大学進化生物学センター）・Hiraoka, K.（黒松内町ブナセンター）・Miyamoto, N.・Takahashi, M.・Tsumura, Y.：Geographic clines in nuclear microsatellite diversity and structure and cone characteristic variation of *Pinus densiflora* natural populations in Japan（日本国内アカマツ天然集団における核 SSR にもとづく遺伝的多様性と構造および球果特性変異の地理的勾配），*Proceedings of the IUFRO Forest Genetics 2013, Whistler, Canada*：62-63，7，2013

11. Iwaizumi, M.G.・Tsuda, Y. (ウブサラ大学進化生物学センター)・Ohtani, M.・Tsumura, Y.・Takahashi, M. : Recent distribution changes affect geographic clines in genetic diversity and structure of *Pinus densiflora* natural populations in Japan(近年の分布変遷が日本国内アカマツ天然集団における遺伝的多様性と構造の地理的勾配に影響する), *Forest Ecology and Management*304 : 407-416, 9, 2013
12. Iwaizumi, M.G.・Takahashi, M.・Isoda, K.・Austerlitz, F. (パリ南大学) : Consecutive five-year analysis of paternal and maternal gene flow and contributions of the gametic heterogeneities to overall genetic composition of *Pinus densiflora* dispersed seeds (連続した5カ年にわたるアカマツの雌雄配偶子ベースでの遺伝子流動とその異質性が散布種子段階の遺伝的変異全体にもたらす寄与), *American Journal of Botany*100 : 1896-1904, 9, 2013
13. 岩泉 正和・大谷 雅人・那須 仁弥・宮本 尚子・中田 了五・生方 正俊 : アカマツ散布種子の景観スケールにおける2年間の遺伝的多様性, *日本生態学会大会講演集* 61 : PA1-037, 3, 2014
14. 原口 雅人 (埼玉県森林緑化研究所)・武津 英太郎 : 天然記念物ケヤキの保存木クローン識別および冬芽形状, *関東森林研究* 65(1) : 87-90, 3, 2014

### 103 情報管理

1. 藤澤 義武 : 森と木とみどりの雑学講座-林木ジーンバンクの役割と可能性, *ぐりーんもあ* 64 (4) : 30-31, 12, 2013

## 11 天然林等の育種

### 111 天然林の育種

1. Hideyuki Katai (静岡県森林・林業研究センター)・Makoto Takahashi・Koichi Hiraoka・Shinya Yamada (静岡県森林・林業研究センター)・Hironobu Tomaru (名古屋大学) : Indigenous genetic lineages of *Fagus crenata* found in the Izu Peninsula suggest that there was one of refugia for the species during the last glacial maximum. (伊豆半島で見つかった固有のブナの遺伝的系統は伊豆半島が最終氷期に逃避地のひとつであったことを示唆する), *Journal of Forest Research*18(5) : 418-429, 8, 2013
2. 生方 正俊・田村 明・阿部 正信 (北海道森林管理局)・上田 雄介・山田 浩雄 : 北海道におけるエゾマツの種子発芽タイミングの地理的変異, *日本生態学会講演要旨集* 61 : PA1-040, 3, 2014
3. 大谷 雅人・那須 仁弥・生方 正俊・板鼻 直栄 : 小笠原諸島弟島で確認された絶滅危惧種オガサワラグワの実生の遺伝的評価, *関東森林学会大会講演要旨集* 3 : 51, 10, 2013
4. 大谷 雅人・生方 正俊・板鼻 直栄 : 小笠原諸島における絶滅危惧種オガサワラグワの更新状況, *日本生態学会大会講演要旨集* 61 : PA3-155, 3, 2014
5. 大谷 雅人・岩泉 正和・佐藤 新一・宮本 尚子・矢野 慶介・平岡 宏一 (黒松内町)・那須 仁弥・高橋 誠 : SSR分析に基づいた阿武隈山地のモミ天然林における雌性および雄性繁殖成功の年変動の把握, *日本森林学会大会講演要旨集* 125 : P2-098, 3, 2014
6. 大谷 雅人 : 阿武隈高地のモミ林木遺伝資源のモニタリング : (2) 豊凶が種子の遺伝的特性におよぼす影響, *林木育種情報* 13 : 3, 7, 2013

7. 花岡 創・平尾 知士・渡辺 敦史 (九州大学) : Long range PCR と次世代シーケンサを用いた葉緑体 DNA 一塩基多型の効率的な探索, 日本生態学会講演要旨集 61 : PA1-048, 3, 2014
8. Hanaoka So・Ching-Te Chien (TFRI)・Shun-Ying Chen (TFRI)・Watanabe Atsushi (九州大学)・Suzuki Setsuko・Kato Kazutaka : Genetic structure of *Calophyllum inophyllum* L., a tree employing sea-drifted seed dispersal in the northern extreme of its distribution (海流散布植物テリハボクの分布北限域に置ける遺伝構造), *Annals of Forest Science*, 3, 2014
9. 黒丸 亮 (北海道立林業試験場)・田村 明・落合 幸仁・木村 徳志 (東大北学) : エゾマツ種子の簡易選別と発芽率の向上, 北海道の林木育種 56(2) : 5-8, 1, 2014
10. 玉城 聡、磯田 圭哉、山田 浩雄、中森 由美子 (和歌山県林業試験場) : 絶滅危惧種トガサワラの針葉と球果の形態の集団間変異, 日本森林学会学術講演集 125 : P2-099, 3, 2014

## 1 2 外国樹種の育種

### 1 2 1 外国樹種の育種

1. 加藤 一隆 : テリハボクの枝性の家系間変異 : 森林遺伝育種学会講演要旨集 2 : 5, 11, 2013
2. 加藤 一隆 : テリハボク (*Calophyllum inophyllum*) の開花フェノロジーと花粉の発芽率, 平成 25 年度林木育種センター年報 : 62-64, 10, 2013
3. 加藤 一隆・千吉良 治・山口 秀太郎 : 4 年間のアカシア・マンギウム及びアカシア・アウリカリフォルミスの花粉発芽試験, 平成 25 年度林木育種センター年報 : 68-71, 10, 2013
4. 大谷 雅人・津村 義彦 : DNA から解き明かす東南アジアの熱帯雨林の歴史の変遷, 森林科学 69 : 31-34, 10, 2013
5. 大谷 雅人・津村 義彦 : 違法伐採材の識別にむけた東南アジアの熱帯雨林のフタバガキ科樹種の遺伝分析, 林木遺伝資源連絡会誌 2014(3) : 65-68, 1, 2014
6. Kurinobu Susumu・Chigira Osamu・Matsune Kenji (住友林業筑波研究所)・Miura Masahiro・Naiem M (Gadjah Mada University) : Provenance variation in height development of *Albizia falcataria* under three levels of spacing in East Java, Indonesia (インドネシアジャワ島東部において 3 水準の密度で植栽したアルビジアファルカタリアの樹高の産地間変異), *Silvae Genetica* 62 : 44-51, 3, 2014

### 1 2 2 海外の林木育種技術協力

1. 宮下 久哉 : ケニアにおける林木育種の取り組み, 森林遺伝育種 2 : 158-161, 12, 2013
2. 板鼻 直榮 : 西表への研修生受け入れ, 林木育種情報 15 : 7, 3, 2014
3. Hanaoka So・Stephen Omondi (KEFRI)・Joseph Machua (KEFRI) : Basic Molecular techniques for tree breeding -experimental protocols- (育種のための基礎的な分子技術 (実験プロトコル)), Sankeisha, 8, 2013
4. 田村 明・山田 浩雄・福田 陽子・矢野 慶介・生方 正俊・渡邊 敬治 : 種間雑種を介在したアカエゾマツ自然集団への移入交雑の評価, 日本森林学会大会学術講演集 125、E04 : 198, 3, 2014

## 1 3 会議報告

1. 小長谷 賢一 : アメリカで開催された国際会議 (IUFRO Tree Biotechnology 2013) の概要, 森

- 林遺伝育種 2 : 162-164, 10, 2013
2. 磯田 圭哉 : 第 2 回森林遺伝育種学会大会, 関西育種場だより 72 : 3, 11, 2013
  3. 岩泉 正和 : IUFRO 国際学会『Forest Genetics 2013』に参加して, 森林遺伝育種 2 : 165-168, 10, 2013

## 1 4 プログラム開発

### 1 4 1 プログラム開発

1. 高橋 誠 : 採種園設計プログラム「Mixed」の改良, 森林遺伝育種学会 2 : 32, 11, 2013

### 1 4 2 データベース作成

## 1 5 その他

1. 中村 裕幸 (株式会社 woodinfo) ・石井 彰 (株式会社 woodinfo) ・平岡 裕一郎 ・高橋 誠 : 地上型レーザスキャナによる森林情報のデジタルドキュメント化, ViEW2013 (精密工学会主催), 12, 2013
2. 栗田 学 : ゲノム解析室の紹介, 林木育種情報 13 : 7, 7, 2013
3. 能勢 美峰 : 植物および動物ゲノム国際学会 (Plant & Animal Genome XXI)に参加して, 森林遺伝育種 2 : 79-81, 4, 2013
4. 佐伯 いく代 (北海道大学) ・横川 昌史 (京都大学) ・指村 奈穂子 (東京大学) ・芦澤 和也 (明治大学) ・大谷 雅人 ・河野 円樹 (環境省) ・明石 浩司 (飯田市美術博物館) ・古本 良 : 絶滅危惧生態系: 種を超えた保全のアプローチ, 保全生態学研究 18(2) : 187-201, 9, 2013
5. 指村 奈穂子 (神奈川県自然環境保全センター) ・大谷 雅人 ・古本 良 ・横川 昌史 (大阪自然史博物館) ・澤田 佳宏 (淡路景観園芸学校) : 海岸の希少種バシクルモンの新潟県における生育地の植生, 植生学会大会講演要旨集 18 : P22, 10, 2013
6. 指村 奈穂子 (神奈川県自然環境保全センター) ・澤田 佳宏 (淡路景観園芸学校) ・大谷 雅人 ・横川 昌史 (大阪自然史博物館) ・古本 良 : 海岸生の希少植物バシクルモンの新潟県における個体群構造と生育特性, 日本生態学会大会講演要旨集 61 : PA1-043, 3, 2014
7. 松本 斉 (東京大学) ・石井 潤 (東京大学) ・大谷 雅人 ・鷺谷 いづみ (東京大学) : 樹冠サイズを指標とした保全上重要な森林域の抽出手法の開発: 北限域ブナ二次林への適用, 日本生態学会大会講演要旨集 61 : PA2-142, 3, 2014
8. 山田 浩雄 : JICA 集団研修, 野幌の丘から, 182 : 3, 2, 2014
9. 大谷 雅人 ・出口 詩乃 (東京大学) ・西廣 淳 (東邦大学) ・鷺谷 いづみ (東京大学) : 岩手県一関市内「久保川イーハトーブ」自然再生事業地における水田畦畔の維管束植物相の特徴と規定要因, 保全生態学研究 18(2) : 167-185, 9, 2013
10. 大谷 雅人 : 小笠原の植物紹介 : テリハボク、オオヤマイチジク, 林木育種情報 13 : 8, 7, 2013
11. 大谷 雅人 : 小笠原の植物紹介 : ハハジマノボタン, 林木育種情報 14 : 8, 1, 2014
12. 大谷 雅人 : 八重山諸島の植物紹介 : イリオモテラン, 林木育種情報 15 : 8, 3, 2014
13. Yuzo Sano (北海道大学) ・Yasuhiro Utsumi (九州大学) ・Ryogo Nakada : Homoplastic occurrence of perforated pit membranes and torus-bearing pit membranes in ancestral angiosperms

- as observed by field-emission scanning electron microscopy. (電界放出型走査電子顕微鏡観察により明らかになった祖先的な被子植物における perforated pit membrane およびトールスを有する壁孔壁の非共有派生的な発生) , Journal of Wood Science 59(2) : 95-103, 4, 2013
14. 森本 光 (東京農工大学) ・荒川 泉 (東京農工大学) ・半 智史 (東京農工大学) ・中田 了五・船田 良 (東京農工大学) : スギの傷害心材形成時の脱水範囲および放射柔細胞の内容物の変化に関する研究, 日本木材学会大会要旨集 63 : A13-P-37, 3, 2014
  15. 荒川 泉 (東京農工大学) ・森本 光 (東京農工大学) ・中田 了五・船田 良 (東京農工大学) ・半 智史 (東京農工大学) : スギの心材形成に伴う放射柔細胞の細胞死過程における細胞内容物の変化, 日本木材学会大会要旨集 63 : A13-P-38, 3, 2014
  16. 河西 優衣 (名古屋大学) ・尾頭 信昌 (名古屋大学) ・中田 了五・今井 貴規 (名古屋大学) : 蛍光顕微鏡法によるカラマツ心材成分の組織化学的検討, 日本木材学会大会要旨集 63 : A13-P-39, 3, 2014
  17. 中田 了五 : 樹木の wetwood 現象と定義, 木材学会誌 60(2) : 63-79, 2, 2014
  18. 久保田 正裕 : スギの大臣指定特定母樹が告示されました, 関西の林木育種 72 : 1-2, 11, 2013
  19. 河合 慶恵 : オープンラボを開催しました, 関西育種場だより 72 : 1, 11, 2013
  20. 山口 和穂 : 林業の過去と未来, 関西の林木育種 73 : 4-6, 3, 2014